

12月月号



え

★からだ元気

が

★こころ元気

お

★あたま元気

令和3年12月24日

おかべ幼稚園だより

・冬の枝に慰あり・・・

「春の枝に花あり 夏の枝に葉あり 秋の枝に果あり 冬の枝に慰あ

り…」〈内村鑑三の詩より〉



先々週で、子供たちが楽しく遊んだどんぐりの落ち葉清掃が終わりました。色々と有り難うございました。そこで内村鑑三氏の詩の一部が思い出されました。春の木には花が咲き、子供たちを迎い入れ遊びを盛り上げました。夏には葉がぐんぐんと生い茂り緑の気持ちよい木陰で、砂遊びに心地よい風が流れてきました。また、秋には、たくさんのどんぐりの実がなり、楽しそうに拾い集め、コマを作ったり、ケーキの飾りとして活用したりして楽しみました。この木々と出会ってからの半年、ともに豊かに過ごさせてもらい感謝します。そして今、このどんぐりの木を見ると、葉がすっかり落ち裸になった枝には何もありません。しかし、その隙間から空を見上げると見えてきたものがありました。それは、職員だけでは大変な清掃を皆さんと一緒に清掃していただいた行い(温かい心)が、寒い冬の枝に慰として見えました。何もないと思ったら、皆様の温かい落ち葉清掃と楽しく過ごした子供たちの姿が重なって見えてきました。清掃は大変ですが有難く思います。さらに振り返ると、おかべ幼稚園の保護者の皆様の協力、親切やさしさが子供たちをすくすくと育てているのだと、枝の隙間から見出すことができます。

今年もまもなく終わります。毎年同じような年月でもありますが、よく見たり整理したりすると今まで見えなかったもの、見つからなかったものが見つかるのだと思いました。いつも華やかで盛りだくさんのよさや美しさばかりではなく、整理したり何もなくなったりした時に見えてくるもの、これもとても大切なものだと思います。冬休みには、一年間の大掃除や整理・片付けなどがご家庭でも進められるかと思えます。慌ただしい中ですが、ちょっと時間を取っていただき4月からのお子さんのことを家族でじっくり振り返るよい機会だと思えます。よく見ると何気ないことでその成長の素晴らしさやよさがそれぞれにあると思えます。新たな発見できるかもしれません。よろしくお願ひします。



がんばったね この積み重ねを次へのステップに



コロナ感染予防を第一にした新しい生活様式、新たな教育のもとに不安で過ごした2学期でしたが、無事に終了することができたことに改めて感謝申し上げます。これも、保護者のみなさんの感染症予防、健康管理やなどご理解・ご協力をいただいたからだと思います。様々な活動で変更・縮小などしたものの、園児たちは、たくさんの行事や制作活動、運動等をやり終えることができました。このがんばりや努力、楽しさの持続に一人一人を「よくやったね」「よくできるようになったね」と大きく褒めたいと思います。ここまでには、日々の一つ一つが積み重ねで今があり出来るようになってきたと思います。これがさらに次への力や自信になっていくと思います。たとえ大きな成果として形に現れなくても安心した生活、それを認めるだけでも次の自信につながります。日々の一つ一つをしっかりとやったからです。そして、先ほどの話にもありますが、今日は、お子さんと共に家族で2学期の出来事を振り返ってみてください。家族の一員として認め合い喜ぶことで自己存在感はもとより自己肯定感が育つと思うからです。これほど振り返りは大切です。

また明日から冬休みに入りますが、交通事故、不審者、コロナ感染には十分に注意していただく中に、クリスマスからお正月を迎える日本の風習など、できる範囲でいつもと違う体験や遊びを通じてお子さん

と楽しんでください。さらに、体を休めつつも礼儀や規則正しい生活、健康な体作り、読み聞かせなどもお願いします。園で配布した計画カードを利用して冬休みにやるべきことを続けてください。特におかべ幼稚園ならではの「あいさつ・返事」の素晴らしさの継続実践をお願いします。2学期も大変お世話になりました。

組体操 できるかに感動



私の小学校教諭時代は、全て5・6年生の担任でした。組体操は当時6年生の種目で運動会の花でした。7人タワーや10人ピラミッドなど指揮してきました。1人組は自分の力が主ですが、2人組からは友達との協力が必要です。体の大きさや力のバランス等全体を考えて、組み方等を考えます。友達同士で体を支え合ったり、足を持ったり、肩にのったりです。小学生でもそれが痛い子もいます。必死に踏ん張って持ち上げても、崩れてしまうチームなどもありました。だから砂場等で何度も練習しました。気合いを入れないと事故につながります。相手の力に身を任せる技もあります。自然と力の弱い子に無言にしてカバーし助ける強い子の存在もありました。仲間意識と信頼が重要な種目です。弱音を吐いたら失敗します。先生の意気込みと号令に合わせ一斉に動くタイミング、それに応える園児の信頼関係、その力・精神・心などの見えない気持ちも大事です。

この大変さを知っているが故に、発表会の子もたちと先生方の頑張りに改めて感動しました。お子さんたちがここまで出来るようになっていく姿はうれしいです。しかし組・りす組さんたちもその凄さや格好よさを見て、次は僕たちの番だときっと思っていることでしょう。「かっこいい」、「すごい」の声は保育園の友達からも聞こえました。観客の応援に誇らしげな子供たち、さらに自信が湧いていると思います。仲間とのよき思い出がまた一つできました。次のステップを楽しみに私たちも指導を頑張ります。そして、それを受け継ぐ後輩たちも一生懸命な演技や態度からして、必ず次に良い繋がりが期待できると思います。有り難うございました。

冬季休業中の生活について (コロナ感染に注意して)

- ・ 早寝早起きの規則正しい生活をしましょう。
- ・ 寒さに負けず戸外での遊びをしましょう。
(竹馬乗り、縄跳び、凧揚げ、羽根突き、こま回し、ジョギング等)
- ・ 家族そろって、文字や数に関心をもつ遊びをしましょう。
(カルタ、すごろく、トランプ等)
- ・ 挨拶や手伝いを進んでできるようにしましょう。
(来客や他家への訪問等、挨拶や対応のマナー等学ばせるのに良い機会です。
手伝いは、継続できるものを毎日行えるようにしましょう。)
- ・ 交通事故に遭わないよう決まりや規則を守りましょう。
(幼稚園児は、道路での自転車乗りは禁止です。)
- ・ 不審者に注意しましょう。
(知らない人の車に乗ったり、怪しい人について行ったりしない。)
- ・ 健康に気をつけましょう。(うがい、手洗い。食べ過ぎで健康を害さないようにしてください。怪我や入院等万一のことがありましたら連絡をお願いします。)
- ・ 火遊びや危険な遊びをしないよう、保護者がいつも見ているところで遊ばせましょう。また、知らない人の誘いに乗らないよう注意をお願いします。
- ・ 家族そろって楽しい毎日が送れるよう、家族の触れ合いを大切にしてください。その中に、絵本の読み聞かせは毎日行いましょう。

